

佐賀県水難救済会唐津マリン救難所に救助船を配属

公益社団法人日本水難救済会では、平成24年11月27日、佐賀県水難救済会唐津マリン救難所に救助船「EX29」を配属いたしました。

佐賀県水難救済会への救助船配属は初めてで、12月7日（金）午後1時30分から唐津市ニタ子の唐津市船舶上架施設において、「坂井俊之」佐賀県水難救済会会長（唐津市長）、「向田昌幸」日本水難救済会理事長及び「星野誠」唐津海上保安部長等関係者が出席し、同船の披露式が執り行われました。

唐津マリン救難所は、「増本善明」救難所長をはじめ19名の救助員により、唐津港周辺沿岸における海難救助を実施しているほか、各種海上訓練への参加、夏場における海水浴場の警戒を行っており、今般、救助船が配属されたことから一層の活躍が期待されております。

救助船の要目等

船名：EX29（近日中に船名を「レスキュー玄海」に変更する予定）
船質：FRP 長さ：8.93m 幅：2.38m
深さ：0.75m 総トン数：2.8トン
機関：ヤンマー製 形式：6LP-DT
連続最大出力：151kw（205PS）
就役：平成22年3月

